

夏休みだからこそ心がけてほしいこと

1 進路目標を見いだすために、豊かな体験をしよう！

新しいことに挑戦し、経験を積むことは、自分の興味や得意分野を見つける手助けになります。例えば、看護体験や農業体験に参加したり、趣味を深めるための時間を作ったりして、自分の内面から「将来何をしたいのか」じっくりと考えてみてください。

2 たくさんある進学先から、志望校群を決めよう！

将来を考える上で、志望校を絞り込むことは重要です。自分の進むべき方向性を明確にし、そのための準備が始められます。オープンキャンパスなどに積極的に参加しましょう。

3 目標に向かって努力できる『よい習慣』『勉強体力』を身につけよう！

夏休みは自主学習の時間が確保できます。時間を有効に使い、学習への意欲を高める習慣を身につけましょう。毎日少しずつでも学び続けることが、将来の大きな力となります。

夏休みは貴重な時間です。みなさんの夏休みの体験や成長についての報告を、楽しみにしています。良い夏休みを過ごしてください。(進路指導部長 山本)

3年生

勝負する受験生は夏休みに1日10時間学習

「受験生として夏を有意義に過ごそう」

明日から日帰り学習合宿が始まります。大勢の生徒が参加を予定しており、3年生の意識の高さを感じています。学習合宿では夏休み1日10時間の学習時間を狙っています。受験生として夏を有意義に過ごすために、**学年の進路通信で記載した点(生活リズムを学校の時間割と合わせる。各志望大学の入試要項を集める等)**を意識して夏休みを過ごしましょう。

「志望校チェック～受験の併願パターンを考える～」

・夏休みが始まると三者面談です。生徒本人と保護者と担任で進路希望の確認をします。総合型選抜や学校推薦型選抜の受験希望について確認します。難易度や入試科目・配点・日程を確認するだけではありません。それらの併願パターンも考えます。
・国立大は共通テストを第1関門にして、その自己採点結果を基にして実際に受験する大学を決めていくので、共通テストの結果に対して3つの状況(第①セット：理想通りの結果だったのでいよいよ第1志望を受験するとき用、第②セット：理想まではいかなかったが実力相応の志望校を選択できるとき用、第③セット：うまくいかず押さえの大学に回る必要があるとき用)を想定して3つのセットをつくります。
・私立大学について併願パターンを作成する際には、入試日・合格発表日・手続き日等を考えて、無駄や無理がない組み合わせにするべきです。また、いろいろな入試方式が各大学で設定されます。一般的に科目数が少なくなる方が難易度(得点率、倍率)が高くなります。受験生たちは得意科目を絞って高得点を狙います。しかし、教科科目数が多い方式ではその合計点で競えるので各科目で高得点を取る必要性が低くなります。そして、志願者も減少して倍率が下がる傾向があります。

「学校推薦型選抜に向けて」

学校推薦型選抜の指定校が開示され、興味をもっている生徒が多くいます。年内入試(学校推薦型選抜や総合型選抜)は入試のチャンスを増やしますが、志望理由や自分の学習計画などを、しっかりと検討してから出願を考えましょう。とくに**指定校推薦**は、学校の代表として受験するわけですので、学校推薦型選抜の中でもさらに**ハードルが高いもの**だと認識してください。

4月の進路希望調査の段階から、明確に志望していることや、遅刻や欠席が少ないこと、**模試や講習などにも積極的に参加し、学ぶ意欲が高い生徒**は検討に値します。出願を検討している生徒は担任の先生とよく相談をしておきましょう。

No Action, No Gain!

7月12日に実施された大学講義体験では、様々な分野で活躍されている講師の先生方の講義を受講して、たくさん学びと気づきがありました。講義を受講した2年生の振り返りを見てください。

2年生

「自分もこんなことをやってみたい、おもしろいと感じたので、自分の興味があること、気になることをより詳しく調べたり、研究したりしてみたい。」
「80分授業という初めての経験だったが、いざ授業が始まるとあっという間だった。大学の様子も知ることができ、自分の夢に近づいてきているんだと実感できた。」
「自分が学びたい学問だけでなく、他の学問(特に英語など)も学ぶ必要があると分かったので、他の教科の勉強もがんばっていきこうと思った。」
「先生みたいにアクティブに活動したい。簡単にはマネできないかもしれないけど、自分の好きなこと、アクションを起こすことを忘れずにしたい。」

どうですか? 講義の内容や講師の先生方に対する感想はもちろん様々です。ですが皆さんの振り返りの言葉の向こうに共通して見えてくるのは、「**今こそアクションを起こすときだ。**」という強い意思です。

大学講義体験での経験を通して、皆さんの視野は確実に広がりました。学ぶことのおもしろさ、奥深さに気づいた皆さんは、これからどんなアクションを起こすのでしょうか。アクションを起こした人だけが、新しい出会いに恵まれます。「学問との出会い」「大学との出会い」「先生との出会い」など、いろいろな出会いによって人は成長します。自分の進む道を自分の手で切り拓く、それが「進路選択」であり、「進路実現」です。出会いは待っていても手にすることはできません。どれだけテクノロジーが発達しても、自分の五感が確かめることに勝るものはないはずです。

この夏に何を感じたか、このことが、皆さんのこれからの進路選択、進路実現を大きく左右することになります。No Action, No Gain!

「まだ1年生」から「1年生のうちにすべきことをやる」の考え方へ!

いよいよ夏休みが始まります! 高校生になって4か月近くが経ちますが、この期間を振り返ってみて、自分にどんな言葉をかけることができそうですか?

1年生

最近、高校生活に慣れてきて、楽しそうに生活する皆さんの姿を多く見られるようになり嬉しく感じています。

ただ、「まだ1年生だから」という考えで、やるべきことを後回しにしている人もいるようです・・・そこで! この夏、自分の考え方を「まだ1年生」から「1年生のうちにすべきことをやる」へシフトしてみませんか?

《この夏に取り組みすること!》

①学習について

1年生のうちにすべきことは「勉強体力」をしっかりつけることです。高校受験とは異なり、大学受験は全国規模の戦いです。内容が難しくなるだけでなく、科目数も多くなります。これを高校3年生の1年間で準備するのは無理です!! もし、「この夏、勉強時間が0です・・・。」なんてことになると、一気に周りとの差が付きます! せっかくの夏休み、自分の好きな時間に使うことも大事です。ただ、時間がある1年生のうちに、計画的に課題に取り組んだり、模試を解き直したりすることにぜひ、取り組んでください!

②進路について

夏休みもオープンキャンパスに行ったり、卒業後の進路につながるような体験に参加しましょう。自分の希望進路を考えるために時間を使うことができます。先日、学級掲示された「オープンキャンパス・体験学習のお知らせ」などに申し込むのも1つです! また、県外に足を伸ばせるのも、この夏休みです。様々な体験から、自分の将来につながる活動をやってみましょう!